

## 学校再開後 1週間の子どもへの対応

### ～担任と子どもをつなぐ黒板の活用～

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために制限されていた社会的活動が、少しずつ解除され、学校も再開しました。長期間にわたるステイホームにより、生活リズムの乱れや意欲の消失、あるいは課題ができていないことの困り感など、登校への不安を抱えている子どもも少なからずいます。登校が再開されたこの1週間は、今までの生活と大きく変わり、心身ともに不安定になる子どもが増えてくることが予想されます。子どもとつながるための、小さな取組として「黒板メッセージ」を紹介します。



### 先生は自分たちのことをわかっているというメッセージを 前向きな言葉で伝える「黒板メッセージ」

朝の会や帰りの会では、必ず「先生の話」が設定されています。それは連絡事項やその日の出来事について、教員の考えや思いを話す時間です。でも、時間が限られており、つい連絡事項で終わってしまうことも少なくありません。

そこでお勧めなのが、子どもたちが帰った後の放課後や朝早くに、学級の黒板に教員の思いや願いをしたためる「黒板メッセージ」です。

#### 黒板メッセージの進め方

##### ① 子どもに伝えたいことを整理する

まず、一日を振り返って、いいなあと思った子どもの言動や感動したこと思い出します。今なら新型コロナウイルス感染症についての心のケアの仕方を伝えるのもタイムリーですね。

★ ここをしっかりと

- ・ 今日この日の黒板メッセージでなければ、時期を逃してしまうものを優先する
- ・ 「今しか書けないこと」を選ぶのがコツ。

##### ② 放課後か早朝に黒板にメッセージを書く

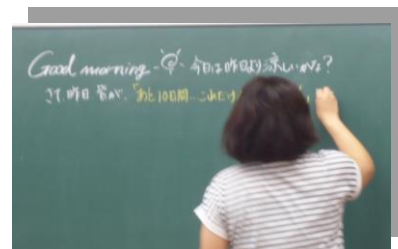
文章を書くのが苦手な人や慣れない間は、書く材料をメモしたり下書きをしたりしておくとういでしょう。絵の得意な人は絵も添えると子どもたちが注目します。

##### ③ メッセージを読み返す

「子どもたちが朝学校に来て、このメッセージを読んだらどう思うかな」と想像しながら書いたメッセージを読み返します。

★ ここをしっかりと

- ・ 指示や注意などではなく、愛情を感じる文章表現が含まれているかどうかポイント



黒板メッセージを書いている様子

※ 裏面には5月22日に今年度市内10校に配置されている不登校担当教員の連絡会で行った、『不登校の初期対応』のブリーフミーティングの記録を載せています。先生方から出されたアイデアは宝の山です。ぜひ参考になさってください。

## 2020年5月22日 不登校担当教員連絡会

ブリーフミーティング

ルール  
(解決志向・守秘義務)

終了時刻 16:25

事例の報告(5分)

休み初めの対応が  
わからない

親からは病気という欠席連絡  
宿題ができていない  
担任が一人で対応して情報共有ができていない  
対応するタイミングがわからない  
欠席の理由を言わない  
友達の家に遊びに行っている  
生活リズムがくずれている  
お家の人と離れられない  
友だちがこわい  
毎朝校内で大泣きする  
迎えに行ったら家族じゅう寝ている  
コロナに感染するのがこわい  
来たら元気なんだけど…  
家庭訪問しても会えない

質問・リソース探し(10分)

宿題ができてなくても大丈夫という対応をすること  
にしている

朝、学年主任が欠席者をチェック→欠席黒板に記入  
登校したら○や見え消し

あいさつ運動で子どもの表情を観察

欠席3日で家庭訪問を徹底

↳ 親子で来てもらうことにしている

副担任が欠席者の家に電話連絡

電話対応はやさしい声で

欠席連絡の受け方が統一されている

友だちからの情報を有効に

事務職員さんに子どもの様子を情報提供しておく

保護者に寄り添う、励ます

校内巡回して教室に入れず泣いている子を発見

今日のゴール

新たな不登校をゼロ



不登校担当教員によるブリーフミーティングの様子

解決のための対応策

- ・ **正門、別室までの登校でOK(自己決定)**
- ・ 言葉を発するのが苦手な子には選択肢を示し、どうしたいかを子どもに指さして決めてもらう。
- ・ 居場所や時間を自我関与・自己決定させる
- ・ 構成的グループエンカウンターで仲間づくり
- ・ 遅刻・欠席の連絡を早く、確実に職員で共有
- ・ **電話対応を統一し、電話のところにラミネートして置いておく**  
「どんな具合ですか?」「熱は?」「病院には行かれましたか」等→「実は学校に行きたくない…」
- ・ **電話対応や家庭訪問の仕方をロールプレイで研修**
- ・ 二者面談(担任や学年団・養護教諭・SC)
- ・ 家庭訪問でゲームを一緒にしてつながる
- ・ 電話や家庭訪問を2名体制で
- ・ 宿題で決して責めず、「宿題していなくてもいいよ。」と安心感がもてるように
- ・ 「給食だけ食べにおいて」
- ・ コロナ…「ステイホーム頑張ったね」
- ・ 3日以内に顔を見るというルールを設定
- ・ 職朝なしで担任が教室で笑顔で子どもを迎える
- ・ 黒板メッセージ

決定する(当事者)

次回を決める

撮影